



2025年12月25日（木）TCAA受賞記念展、開幕！

「湿地」—梅田哲也と吳夏枝 交錯し、共鳴し合う表現

東京都とトーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）が、海外での活動に意欲をもつ中堅アーティストを対象に2018年から実施している現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)」。この度、5回目の受賞者による「TCAA 2024-2026受賞記念展」を、東京都現代美術館にて開催します。

梅田哲也と吳夏枝は、近年「海路」や「水路」など、水にまつわる考察を作品の重要な要素に取り入れています。仮想の島々をめぐるように個人の歴史や物語をつなぐことで、鑑賞者の記憶に働きかける吳のプロジェクト「grand-mother island project」を中心とした作品構成と、パフォーマンスやツアーなど、さまざまな形態によって物事の構造を可視化する梅田が展示空間に創出する新たな導線が、表裏の関係のように、あるいは水と陸地の境目である湿地のように、時に反転しながら、緩やかに重なり合います。

展覧会概要

展覧会名：Tokyo Contemporary Art Award 2024-2026受賞記念展「湿地」

英語タイトル：Tokyo Contemporary Art Award 2024-2026 Exhibition "Wetland"

出展作家：梅田哲也、吳夏枝

会期：2025年12月25日（木）～2026年3月29日（日）

会場：東京都現代美術館 企画展示室3F（東京都江東区三好4-1-1）

開館時間：10:00-18:00

休館日：月曜日（1月12日、2月23日は開館）、12月28日～1月1日、1月13日、2月24日

入場料：無料

主催：東京都、トーキョーアーツアンドスペース／東京都現代美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）

ウェブサイト：www.tokyocontemporaryartaward.jp

<お問い合わせ>

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

広報担当：舟橋、市川、中村

TEL：03-5245-1142 FAX：03-5245-1140 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

本展の見どころ

受賞者 2 名による協働

梅田と呉は受賞直後から対話を重ね、それぞれの作品のコンセプトを共有し、受賞記念展に対するイメージを形成していく中で、互いの作品が空間の中で関係し合う展示構成に至りました。また、その対話の過程において、2名の近年の作品に共通する要素である「水」を起点とした展覧会タイトル「湿地」を導き出しました。水と陸のはざまに存在し、多様な生態系を有するその場所は、本展における両者の作品の交流とも重ね合わせることができます。

呉は、TCAA の海外活動を経て制作された新作を含め、日本・韓国・オーストラリアを中心に個人の記憶を辿りながら 2017 年より制作を続けてきたプロジェクト「grand-mother island project」を展覧します。梅田は、呉の作品も展示される空間に新たな導線を設定し、随所に動的な音響のオブジェクトを組み込むことで、作品を鑑賞するための制度としての美術館に対する視点の転換を試みます。

中堅作家が挑戦的な取り組みを行うことができる TCAA ならではの展覧会であるとともに、全く異なる手法によって表現活動を行う 2 名の作品が、個々の評価によって選ばれた受賞者という枠組みを超えて共鳴し合うことで、生み出される展覧会です。

関連イベント

アーティスト・トーク ※入場無料／要事前予約（11月初旬予約開始）／日英同時通訳、日本手話通訳あり
選考委員と出展作家が選考を振り返りながら、本展出展作品や今後の展開について話します。

日 時：2026 年 1 月 10 日（土）15:00-16:30（開場 14:30）
出 演：梅田哲也、呉 夏枝、高橋瑞木（CHAT 館長兼チーフキュレーター／TCAA 2024-2026 選考委員長）、本展担当学芸員
モデレーター：塩見有子（特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT／エイト]ディレクター／TCAA 選考会運営事務局）
会 場：東京都現代美術館 B2F 講堂

梅田哲也構成・演出『プレイタイム』上映会＋アフタートーク ※入場無料／要事前予約（11月初旬予約開始）

日 時：2026 年 1 月 12 日（月・祝）15:00-17:00（開場 14:30）
会 場：東京都現代美術館 B2F 講堂
映像提供：Bunkamura（企画・製作） NTT 東日本（協力）

※日程および出演者は変更となる場合があります。

※その他、対談やパフォーマンス、担当学芸員による作品解説など各種イベントを開催予定です。詳細は、TCAA ウェブサイトでご案内します。

モノグラフ（2026 年 8 月発行予定）

作品画像や、作家のテキスト、専門家による寄稿に加え、本展の展示風景画像などを収録した作品集を作家ごとにバインガルで発行します（非売品）。また、発行後、ウェブサイトでの公開のほか、希望者への郵送配布を行う予定です。詳細は決まり次第、TCAA ウェブサイトでお知らせします。

作家略歴／作家コメント／広報用画像

※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。



撮影：シャヒロヤス

梅田哲也 | UMEDA Tetsuya

1980年熊本県生まれ、大阪府在住。

現地にあるモノや日常的な素材と、物理現象としての動力を活用したインсталレーションを制作する一方で、パフォーマンスでは、普段行き慣れない場所へ観客を招待するツアーワークスや、劇場の機能にフォーカスした舞台作品、中心点を持たない合唱のプロジェクトなどを発表。先鋭的な音響のアーティストとしても知られる。

近年の個展に「wait this is my favorite part 待ってここ好きなとこなんだ」（ワタリウム美術館、東京、2023）、「梅田哲也 イン別府『O滞』」（別府各所ほか、2020）など。また、パフォーマンス公演として「Kunstenfestivaldesarts 2017『Composite: Variations / Circle』」（ブリュッセル）など。

作家コメント

通常なら公共の美術館ではまともに取り合ってもらえないでもおかしくないプランですが、周囲の皆さんのサポートのおかげで、実現の一歩手前まで漕ぎ着けることができてしまいました。

表と裏、地と図、ハレとケ——理解のために切り離してきたものが、実は地続きであることをふと自然に思い出せるような現場になればいいなと妄想しています。

胸が沈むニュースが多いけれど、忘れないことや忘れてはいけないことを、少しづつ楽しみに変えながらやつていきたいです。



1.



2.



3.

1-2. 「wait this is my favorite part 待ってここ好きなとこなんだ」展示風景（ワタリウム美術館、東京、2023）撮影：天野祐子

3-4. 「梅田哲也 イン別府『O滞』」（別府各所ほか、2020）撮影：天野祐子



4.

受賞後に実施したインタビュー、受賞2年目に実施した欧州での海外活動についてTCAAウェブサイトにて公開しています。

インタビュー
(2024年7月収録) ▶



海外活動
(2024年4-5月実施) ▶



作家略歴／作家コメント／広報用画像

※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。



撮影：シャヒロヤス

吳 夏枝 | OH Haji

1976年大阪府生まれ、オーストラリア在住。

2012年京都市立芸術大学美術研究科博士後期課程研究領域染織修了。

主に、織、染、ほどくなど、纖維素材にまつわる技法を用い、写真、テキスト、音声などを併用したインスタレーション作品を制作。在日韓国人三世の出自を背景に、言葉にされなかつた個人の記憶—沈黙の記憶—をめぐる制作や、ワークショップをとおしての対話や経験をもとに、記憶の継承の可能性を探求している。現在は、日本とオーストラリアを拠点に活動している。

近年の展覧会に、「総合開館30周年記念 遠い窓へ 日本の新進作家vol.22」(東京都写真美術館、2025)、「アジア・パシフィック・トリエンナーレ11」(クイーンズランド州立近代美術館、ブリスベン、オーストラリア、2025)、「ANTEPRIMA × CHAT Contemporary Textile Art Prize 2024」(CHAT、香港)、「六本木クロッシング2022展：往来オーライ！」(森美術館、東京)など。

作家コメント

近年取り組んでいる「grand-mother island project」の根幹にあるのは、記憶の継承と、それをめぐる「場」をつくることです。TCAAの海外活動支援を受けて実現したリサーチの旅では、過去の出来事を次世代へとつなごうとする人々、その営み、そしてそれをめぐる息づく記憶にふれることができました。その多様な在り方を、現地での出会いをとおして学ぶ貴重な機会でした。今回の展示では、これまで制作してきた作品群に加え、海女をめぐる対馬や濟州島でのリサーチやインタビューをもとに生まれた新作を発表予定です。それは、奇跡のめぐり合わせの断片を紡ぎ合わせるような作業です。また、予見不可能な梅田哲也さんとの空間のコラボレーションでは、その過程をも糧に、鑑賞者の記憶を喚起し、それぞれの物語が交錯する場を浮かび上がらせる試みを試みます。



5.

5. 《彼女の部屋にとどけられたもの》2019
撮影:根本 謙 画像提供:水戸芸術館現代美術センター



6.

6. 《海図》2017-2019
撮影:木暮伸也 画像提供:小山市立車屋美術館



7.

7. 《海鳥たちの庭》2022「六本木クロッシング2022展：往来オーライ！」展示風景 (森美術館、東京)
撮影:木奥恵三 画像提供:森美術館

8. 《記憶をまとう》2014 撮影:山本 純



8.

受賞後に実施したインタビューや、受賞2年目に実施した大阪、兵庫、対馬（長崎）での海外活動についてTCAAウェブサイトにて公開しています。

インタビュー
(2024年7月収録) ▶

海外活動
(2024年6-7月および
2025年2-3月実施) ▶



Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)について

本賞は、海外での展開も含め、更なる飛躍とポテンシャルが期待できる国内の中堅アーティストを対象とした現代美術の賞です。アーティストのキャリアにとって最適な時期に最善の支援内容を提供する必要性を重視し、受賞者の選考は、選考委員によるアーティストのリサーチやスタジオ訪問により、制作の背景や作品表現、キャリアステージへの理解を深めた上で行われます。受賞者には、海外での活動支援のほか、東京都現代美術館での展覧会およびバイインガルでのモノグラフ（作品集）の作成など、複数年に渡る継続的な支援を行います。

【支援内容】※TCAA 2024-2026 実施内容

- 1) 賞金 300 万円
- 2) 海外での制作活動支援／上限 200 万円
(旅費、滞在費、調査・制作費等)
- 3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- 4) モノグラフ（作品集）の作成
(上記(3)の展覧会実施後に制作)・海外発信支援

スケジュール



【選考委員】※肩書きは 2023 年選考会実施時のもの

高橋瑞木 [CHAT 館長兼チーフキュレーター]

野村しのぶ [東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター]

ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ [クンストインスティテュート・メリー ディレクター]

レスリー・マ [メトロポリタン美術館 ミン・チュー・シュウ & ダニエル・シュー アジア・アート部門アソシエイト・キュレーター]

鷺田めるる [十和田市現代美術館 館長／東京藝術大学大学院 准教授]

近藤由紀 [トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター]

【選考会運営事務局】特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT／エイト]

【受賞者】

- | | |
|--------------------|------------|
| 第1回 TCAA 2019-2021 | 風間サチコ／下道基行 |
| 第2回 TCAA 2020-2022 | 藤井光／山城知佳子 |
| 第3回 TCAA 2021-2023 | 志賀理江子／竹内公太 |
| 第4回 TCAA 2022-2024 | サエボーグ／津田道子 |
| 第5回 TCAA 2024-2026 | 梅田哲也／吳夏枝 |

トーキョーアーツアンドスペース (TOKAS) について

TOKAS は、幅広いジャンルの活動や領域横断的・実験的な試みを支援し、同時代の表現を東京から創造・発信するアートセンターです。発表の場としての「TOKAS 本郷」と滞在制作やリサーチ活動の拠点となる「TOKAS レジデンシー」の2館を中心に、今生まれつつある創造的な活動を多様なプログラムによって継続的に支援し、都市東京の豊かな文化を支えるための活動を行っています。また、2018年より東京都と「Tokyo Contemporary Art Award」を創設しました。

www.tokyoartsandspace.jp

Tokyo Contemporary Art Award 2024–2026 受賞記念展 広報用画像申込書

Email : press@tokyoartsandspace.jp

トキヨーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください。下記の URL からダウンロードも可能です。)

1 2 3 4 5 6 7 8

ロゴマーク ウェブバナー ポートレート (梅田哲也 呉夏枝)

<https://www.tokyoartsandspace.jp/press/form/23>

掲載媒体名（特集・コーナー名）

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他 ()

掲載／放送予定日 月 日 発売／放送 (月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

E-mail (画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

- ・ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。
- ・お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

- ・画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。
- ・画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日（土日祝休み）ほど頂戴いたしますのでご了承ください。
- ・作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。
- ・提供した画像データは、使用後速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。
- ・情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

< お問い合わせ > ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内

トキヨーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

広報担当：舟橋、市川、中村

TEL : 03-5245-1142 FAX : 03-5245-1140 E-mail : press@tokyoartsandspace.jp